

2022年8月号 / No.241 / 令和4年7月20日発行



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



コアジサシ営巣地保護活動中「コアジサシ親子」 (諸富町にて / 撮影：ハネひとみさん)

## 野鳥さが 241号 主な内容

- 2022（令和4）年度 支部総会報告-----2ページ
- 事務局便り-----5ページ
- 各地の探鳥会報告-----6ページ
- コアジサシ営巣地保護活動について-----8ページ
- 近隣地区の探鳥会情報&有明海の満潮時刻-----10ページ
- 探鳥会会場までの案内-----11ページ
- 探鳥会などのお知らせ（2022年7月下旬～9月）-----12ページ



# 2022(令和4)年度 支部総会報告

(事務局:島田 洋)

【日時】令和4年(2022年)5月22日(日) 午前10時～

【会場】佐賀市東与賀町 東与賀干潟公園ビジターセンター「ひがさす」研修室

【参加者】高山昭彦、田辺憲子、青柳隆、水田稔、島田洋、江口富美子、宮原明幸、福田康則、吉澤進、橋本泰博、永島博、長岡保、坂田幸夫、秀島泉、秀島サカ枝、中原正義、川原直嗣、青柳良子、大川幸子、八木ひとみ、明楽晴子、馬場清、蒲原留美

【総会次第】(総合司会 橋本 泰博)

- 1 開会
- 2 支部長挨拶
- 3 議長選出 (議長 青柳 隆)
- 4 議事
  - 第1号議案 2021年度事業実績及び同決算報告  
2021年度会計監査報告
  - 第2号議案 役員体制(案)
  - 第3号議案 2022年度事業計画(案)および同予算(案)
- 5 議長解任
- 6 閉会
- 7 意見交換



**第1号議案** 2021年度(令和3年度)事業実績および同決算について

★ 2021年度実績報告：事務局の島田より報告した。

- ① 2021年から2022年3月にかけて18回の観察会・学習会を開催した。
- ② 上記の期間、観察会の参加者は会員が353名、非会員は96名であった。
- ③ 初心者対象の観察会は森林公園で3回開催した。
- ④ 「九州沖縄ブロック大会」「シギ・チ祭り」などはコロナ感染拡大で中止となった。
- ⑤ 鳥栖麓公民館や大詫間公民館などの野鳥観察行事にリーダーを派遣した。
- ⑥ コアシサシの営巣地作りに取り組んだ。
- ⑦ 富士町や三瀬地区にブッポウソウの巣箱を設置した。
- ⑧ 2021年にクロハゲワシが飛来した。佐賀県支部は保護監視活動を行った。
- ⑨ 唐津市七山に風力発電事業が計画された。反対署名・申し入れを続けた。
- ⑩ 愛鳥モデル校の指導を行った。
- ⑪ 物資販売事業に取り組んだ。
- ⑫ 支部報「野鳥さが」の定期発刊に努めた。
- ⑬ 傷害保険・損害賠償保険に加入している。
- ⑭ 「モニタリング1000シギ・チドリ調査」「1000ガンカモ調査」を行った。
- ⑮ 佐賀市からの委託で「カラス調査」を行った。
- ⑯ 自然保護監視員・自然公園指導員に佐賀県支部から数名ずつが登録されている。



★ 2021 年度決算報告

① 会計担当の大川幸子さんより決算報告があった 資料参照ください。

★ 2021 年度会計監査報告

① 会計監査担当の江口富美子さんより収支管理状況は適正との報告がなされた。

★ 質疑応答

Q: 事業実績にラムサールでのボランティア活動は含まれますか？

A: ボランティア活動に分類されず、支部の事業にはあたらない。

Q: カラス調査の結果は支部全体には広報されないのですか？

A: カラス調査の数字はあくまでも市役所のものです。支部での広報はできません。

Q: 大詫間公民館との共催でツバメのねぐら入り観察会を行った。事業実績にあたると思います。

A: 事業実績に該当します。

Q: 物資販売の利益の会計処理はどうなっていますか？

A: 一般会計に入れていきます。

★ 賛成多数により第 1 号議案は承認された。

**第 2 号議案** 役員体制(案)

★ 役員体制(案)については青柳良子より案の内容が報告された。

① 一部に変更があります。

★ 賛成多数により第 2 号議案は承認された。



**第 3 号議案** 2022 年度事業計画(案)および同予算(案)

★ 2022 年度事業計画(案)：事務局の島田より報告した。

① 観察会などの企画充実を図っていく。

② 定例の観察地を県内各地に展開していきたい。

③ 調査研究活動を強化する。

④ バードリサーチなどから調査依頼がある。対応していく。

⑤ 佐賀市から鳥類生息調査の依頼があった。佐賀市内の 12 カ所で鳥類生息調査を行う。

⑥ 財団や他の支部、他の団体との連携していく。

⑦ 野鳥や野生生物の保護、環境保護に取り組む。

⑧ 干潟の保全にさらに取り組む。

⑨ 「コアジサシ営巣地」「ブッポウソウの巣箱」の管理をしっかりと行う。

⑩ カササギの保護も九州電力とも話し合い今後のあり方を検討する。

⑪ 密猟防止にも取り組む。

⑫ 愛鳥モデル校をはじめとした啓発活動を強化する。

⑬ オスプレイの件では、具体的にになった時点でラムサール登録湿地の上空は飛来しないでほしいと申し入れをする。

⑭ 会員拡大に取り組む。

⑮ 広報活動・普及活動を充実する。



⑯ 支部報発刊、ホームページの充実を図る。

⑰ 物資販売事業の充実を図る。

★ 2022 年度予算(案)報告

① 新しい会計担当である高山昭彦さんより報告。

★ 質疑応答

Q: 馬渡島などで風力発電が、計画されている。野鳥保護の立場から何かできませんか？

A: 野鳥関係の情報が乏しい地域です。反対署名への協力はしていく予定です。

Q: 伊万里地区の風力発電は、いったん中止となったが、計画自体は止まっていません。

A: 野鳥保護の立場から柔軟に適切に対応していきます。

A: 佐賀県の予算の関係です。2校分しか予算が付いてないです。

Q: 観察会が会員向けと非会員向けに分けられているが、なぜでしょうか？

A: 愛知県ですが、二つに分けたら入会者が増えたそうです。

Q: 白石町でコウノトリが営巣しています。情報拡散についてはどう対応しましょう？

A: 具体的な位置情報は拡散しないようお願いをしていく。

Q: 予算案に関して項目名が変更になったところがある。なぜでしょうか？

A: 具体的に示しました。

★ 賛成多数により第3号議案は承認された。

意見交換など

★ コウノトリやコアジサシが営巣の見守りシフト表

- ① 白石町ではコウノトリが営巣している。
- ② 佐賀市諸富町では、コアジサシが営巣している。
- ③ 営巣に関しては、見物人対策、天敵対策が必要である。
- ④ コウノトリ、コアジサシ営巣見守りを継続する。
- ⑤ 営巣見守りのシフト表を作成した。



★ コウノトリ営巣とモニタリング

- ① コウノトリの営巣についてモニタリングを続ける。
- ② 農作業や営巣の妨げにならないように立ち入り制限の看板を役場が設置した。
- ③ 営巣、産卵、孵化を見守る。その後足輪をつける。これは山階鳥類研究所が行う？

★ コアジサシ営巣地

- ① 来年も行政からは営巣地を貸してもらえらしい。

★ 広報活動

- ① 新聞などで、「日本野鳥の会佐賀県支部」と名乗って投稿している例がいくつかある。
- ② 「佐賀県支部」を名乗るには必ず支部をとおす事が求められる。

★ 佐賀県支部規約

- ① 議案書とともに配布しました。一読ください。

閉会・解散

★ 12時半頃支部総会は閉会・解散した。



## まとめ

- ① 総会においては活発な質疑応答がなされた。
- ② 営巣地の見守りシフトでは、参加者の協力で短時間のうちにシフトができあがった。
- ③ 佐賀県支部は今後とも野鳥保護・環境保護の活動をさらに充実強化していく。



## 事務局便り

(事務局:青柳 良子)

### (1) ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 240 号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

5月入会者 1名 6月入会者 4名 7月入会者 1名



佐賀県支部の会員は現在244名です。

「新型コロナウイルス」は、まだ安心できませんが 予定通りの観察会が開催できることになりました。 充分気を付けながらバードウォッチングを楽しみましょう！

新入会員の皆様！ 積極的に参加してください。

また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されてない方もいらっしゃいます。

是非いらしてください。お待ちしております！

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もあります。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通してどんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！

みんなの出し合う会費が！

自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いします。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに 花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ 是非お誘いください。野鳥の会は 「いつでも入会OK」です。

### 日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。



## (2) 黒髪山の自然を守る協議会定期総会に出席 (報告：馬場 清)

佐賀県支部の友好団体である「黒髪山の自然を守る協議会」の令和4年度の定期総会が、有田町龍門山の家で開催されました。令和3年度の事業報告と会計報告及び令和4年度の事業計画と予算審議は全会一致で可決承認されました。

協議項目は

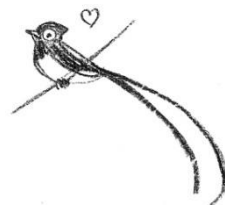
- ① 黒髪山の巨木・原生林の分布調査をしたい。
- ② 自然保護活動の希少植物の分布調査と盗採取対策を警察、保護団体との協議をする。
- ③ 自然観察会の企画で希少植物と野鳥探鳥会を開催します。(予定・5月21日 変更可)
- ④ 龍門溪谷公園の砂防堤工事の件・・・意見 当地の景観及び自然環境に配慮がされていない。
- ⑤ 有田皿山大仏尾根(通称・有田ジャングル)の登山禁止の件・・・私有地であり、また、岩場で転落事故も発生しており、直ちに禁止すべきである!
- ⑥ 黒髪連山登山教室の件・・・有田町と協議して開催の方向に進めたい。
- ⑦ その他・・・砂防堤の現地見学をした。

以上が協議されました。

その他の行事は馬場まで問い合わせして下さい。090-1084-3852



## 各地の探鳥会報告



### ■脊振山探鳥会報告(神崎市)

【日 時】 2022年6月19日

【参加者】会員11名 (案内役：宮原 明幸)

【観察された野鳥】アオサギ、ダイサギ、キジバト、カッコウ、ホトトギス、ジュウイチ、コゲラ、アオゲラ、ツバメ、キセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、ウグイス、ヤブサメ、オオルリ、キビタキ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、ハシボソガラス、ハシブトガラス (25種)

【案内役より】

6月11日に梅雨入り、心配していた雨にも遭わず暑くもなく♪ 山頂4km手前よりゆっくり・ゆっくり往復しました。

木々は茂り、鳥の姿はなかなか見れませんが歌声はたっぷり楽しめました。

### ■椋原湿原探鳥&いきもの観察会報告(唐津市七山村)

【日 時】 2022年7月10日

【参加者】会員14名 (案内役：島田 洋)

【観察された野鳥・昆虫・植物など】

★野鳥：カワウ、ダイサギ、アオサギ、キジバト、カッコウ、コゲラ、ヒヨドリ、

アオゲラ(声)、ホオジロ、サンショウクイ(声)、モズ

★昆虫：クロイトトンボ、キイトトンボ、モノサシトンボ、ショウジョウトンボ、ハラビロトンボ、シオカラトンボ、ハッチョウトンボ、ウスバキトンボ、キチョウ、アオスジアゲハ、シオヤムシヒキアブ、アメンボ類

★クモ：コガネグモ、シロカネグモ、クサグモ類

★その他：アマガエル、トノサマガエル

★植物：ジュンサイ、ヒメミクリ、カキラン、ユウスゲ、ヌマトラノオ、コオニユリ、ヒシ、コバギボウシ、ツチアケビ、シズイ、ノアザミ、ツクバネウツギ、アジサイ類、ネムノキ、シシガシラ、ワラビ、ネジバナ

#### 【案内役より】

榎原湿原の駐車場が集合場所です。 天気は快晴。暑くなりそう。 カッコウの声が聞こえてきました。 ため池の向こうの高い樹のてっぺんにカッコウの姿がありました。湿原のそばの番小屋に管理人の女性。 マダニの危険について詳しく説明されました。 彼女もマダニで大変な目に遭ったそうです。被害に遭う人が増えています。

湿原とその周辺で、昆虫や植物などを観察しました。 ユウスゲの黄色い花。ヌマトラノオの白い花。 コオニユリの橙赤色の花。 コバギボウシの淡紫色の花。カキランはすでに盛りを過ぎていました。ツチアケビとは、ラン科の腐生植物です。黄色い花がついてました。 トンボも観察します。 ハッチョウトンボやハラビロトンボは見かけますが、モートンイトトンボは見かけません。地崎さんによると、榎原湿原では、ここ数年、モートンイトトンボは見かけないそうです。

榎原湿原にも環境異変が起きています。季節の移り変わりが早めに前倒しになっているようです。 いずれにしろ面白い場所でした。

そして、マダニにはくれぐれも気をつけてください。重症熱性血小板減少症候群(SFTS)というウイルス感染症などを媒介します。イノシシやアライグマなどが、マダニの吸血源となります。 動物の通り道は危険です。野外では長そで長ズボンにしましょう。

---

### ■非会員様限定バードウォッチング 開催報告

---

【日 時】 2022年6月5日

【会 場】宇宙科学館周辺(武雄市)

早朝からの雨模様で、中止しました。 1名の方が見えましたが、雨天でも来てくれる方は余程、鳥の関心の有られる方はでしょう? 丁重な断りを言って、中止を伝えて帰って貰いました。 当日の担当者は雨天中止時でも現場に行っておくべきと思いました。

周辺では ヒヨドリ、ウグイス、アオゲラのドラミング、ソウシチョウの鳴き声が方々から聞こえていました。 池にはアオサギ、コサギ、ダイサギ、カイツブリ。カモ類は0でした。(報告:馬場 清)



## コアジサシ営巣地保護活動について

佐賀市諸富町の市所有地にコアジサシが飛来、営巣していることが昨年確認されました。支部では佐賀市の支援を受け、営巣地の保護・保全活動を行っています。

【水田稔さん（神埼市）より】

諸富浄水場跡地のコアジサシの営巣記録途中経過を報告します。

- 4月1日 営巣地の借用・整備開始
- 4月9日 コアジサシ初飛来
- 4月21日 1羽抱卵開始（後に孵化するもネコに補食される）
- 4月12日 ネコ侵入、最初のヒナ補食される（直前の成鳥総数51羽、抱卵中23巣）
- 5月25日 2回目のネコ侵入が発生したため、柵の補強を行った。  
（ヒナ8羽が補食される）
- 5月26日 柵の補強のおかげで、3巣からヒナ5羽が孵化する
- 6月1日 柵の補強後、ネコの侵入は見られず、第1段グループの営巣グループで4巣からヒナ総数で10羽が孵化する
- 6月16日 第1段グループのヒナで早いものは、近くの田んぼに巣立つ  
（夜はまだ、ねぐらとして営巣地内に戻る）
- 6月6日 第2段グループの抱卵が始まる
- 6月27日 第2段グループの孵化が始まる
- 7月11日 現在、第1グループのヒナ10羽が飛び立つ。  
第2グループは11つがい営巣し11羽が孵化する。  
まだ抱卵中がいますので、今後調査を継続し最終報告をまとめます。



営巣地の整備



初飛来（右側、左はデコイ）



求愛行動



ヒナたちの様子



【八木ひとみさん（佐賀市）より】

佐賀支部有志で見守っているコアジサシ（4番）の成長記録です。

- 5月21日 コアジサシは石と同じような色の卵を2～3個産み、かがんで温めます。
- 5月27日 3羽のヒナが孵りました。ヒナには小さな魚を採ってきて与えます。
- 5月29日 3羽のヒナは2羽になりました。遅れて生まれた3羽目ははぐれてしまったそうです。ヒナは親の帰りを待っています。
- 6月2日 親がエサを採って帰ってきているのがわかるようで、近づくと我先に「ちょうだい！」と走り出します。
- 6月9日 羽ばたきの練習です。
- 6月16日 初めて営巣地保護区から飛び出しました。そばの田んぼで発見。水を飲んだり、水浴びをしたりしていました。その後、営巣地にもどったので一安心です。それからは、夜は営巣地で休み、朝になると外へ飛び出します。飛行やエサ取りの訓練をしているのでしょうか。夕方にはもどってきました。
- 6月30日 私がこのきょうだいを見た最後。いまごろどこにいるのかな？ 来年も待ってるよ。



コアジサシ4番抱卵中



ヒナが孵る・給餌中



ヒナが2羽に



エサをねだりに飛び出す



羽ばたき練習中



初めて田んぼへ



親子水入らず？



来年帰ってきてね！

## ● 近隣地区の探鳥会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■ 日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

- 福岡市西区今津：8/7 (日)
- 福岡市大濠公園：8/13 (土)
- 筑紫野市天拝山：8/21 (日)
- 春日市春日公園：8/2 (火)
- 福岡市和白海岸：8/14 (日)
- 福津市久末ダム：7/24 (日) 8/28 (日)

※上記の定例探鳥会以外に、月例探鳥会も実施されています。

詳しくは福岡支部のホームページをご覧ください。

### ■ 日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

※7月、8月の探鳥会はお休みです。再開は9月からです。

詳しくは筑後支部のホームページをご覧ください。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>  
筑後支部 <http://grosbeak.blog.fc2.com/>



## 有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m以上、午前 7 時頃から 12 時頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
8月1日	11:02	8.3	9月8日	7:17	5.0
8月2日	11:34	5.1	9月9日	8:12	5.5
8月10日	7:15	5.0	9月10日	9:00	5.8
8月11日	8:17	5.4	9月11日	9:43	6.0
8月12日	9:10	5.6	9月12日	10:22	5.9
8月13日	9:58	5.8	9月13日	10:57	5.8
8月14日	10:41	5.8	9月14日	11:28	5.5
8月15日	11:19	5.7	9月24日	8:08	5.2
8月26日	8:29	5.1	9月25日	8:45	5.5
8月27日	9:06	5.4	9月26日	9:23	5.7
8月28日	9:42	5.5	9月27日	10:00	5.7
8月29日	10:17	5.6	9月28日	10:36	5.7
8月30日	10:50	5.5	9月29日	11:10	5.5
8月31日	11:22	5.4	9月30日	11:45	5.3

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

#### ■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

#### ■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)







# 探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①7月24日 雲仙・あざみ谷(長崎県雲仙市)



②8/7 ③8/28 ⑤9/11 佐賀市東よか干潟



④9月4日 佐賀市・ツバメのねぐら



⑥9月18日 鏡山(唐津市)



## ～野鳥さが原稿募集中～

① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f\_baba841@ybb.ne.jp





## 探鳥会などのご案内 (2022年7月下旬～9月)

### ①7月24日(日)

#### 雲仙・あざみ谷探鳥会(長崎県雲仙市)

[集合] 5:30 佐賀市大和町 石井樋公園の  
「さが水ものがたり館」  
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ] 雲仙あざみ谷の水場を訪れる「オオルリ」  
「キビタキ」「クロツグミ」を観察します。

※「さが水ものがたり館」より、車乗り合わせで「雲仙あざみ谷」へ行きます。事前申し込みが必要です。

[申し込み] 担当の宮原さんまでお願いします。

### ②8月7日(土)室内学習会

[集合] 9:30 佐賀市東与賀町の東よか干潟  
ビジターセンター「ひがさす」  
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[内容] \*会員学習会\* 野鳥に関する知識を  
深めます。参加費無料。

### ③8月28日(日) ⑤9月11日(日)

#### 東よか干潟(大授搦)探鳥会(佐賀市)

[集合] 両日とも 8:00  
東よか干潟展望台(佐賀市東与賀町田中)  
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市) 080-1707-9225  
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560  
[見どころ] 繁殖を終え、渡りはじめた「シギ・チ」を  
観察します。(トイレあり)

探鳥会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト  
(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は  
宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡  
をして下さい。

### ④9月4日(日)

#### ツバメのねぐら 観察会(佐賀市)

[集合] 18:00  
佐賀市川副町の大詫間公民館 駐車場  
[担当] 永島 博さん(佐賀市) 090-1360-8940  
宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ] 繁殖が終わり、河口の葦原で集団塒  
(ねぐら)をとるツバメを観察します。

### ⑥9月18日(日)

#### 鏡山・ハチクマの渡り 観察会(唐津市)

[集合] 8:00 唐津市鏡の鏡山 駐車場  
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085  
[見どころ] 越冬地の東南アジアへ向けて通過して行く  
「ハチクマ」を観察します。

### 共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代) 佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル  
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)  
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)  
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>